

カトリック広島司教区災害サポートセンター開設のお知らせ

2011年3月26日

広島司教区教区長

三末篤實司教

私たちが襲った東北地方太平洋沖地震の被害は、日に日に深刻さを増し、とりわけ福島原子力発電所は未だ予断をゆるさない状況にあります。この地震と津波で亡くなられた方々、また厳しい状況にある被災者、避難者の皆さまのために、神を通して慈しみと助けが与えられますよう、心よりお祈りしております。

この現状を鑑み、カトリック広島司教区では「広島司教区災害サポートセンター」を立ち上げました。今後現地の状況を見ながら、広島司教区として、関係機関（被災された教区、カリタスジャパン等）と協力しながら、被災された方々のためにできることを考え、実行していきたいと思っております。

なお、このセンターの担当として、本部事務局長の原田豊己神父を任命しました。皆様のご協力をお願い致します。

《広島司教区としての支援状況》

1) 募金先（用途に応じて、各小教区でご判断ください。）

①カリタスジャパンへの募金

⇒被災された方全般のための募金

②仙台教区サポートセンターへの募金

⇒仙台教区内の教会及び、教会関係の諸施設の復興と被災した信徒及び、その家族の支援のための募金

③広島教区サポートセンターへの募金

⇒広島教区内に避難してこられた方々のサポート、その他緊急に援助を必要とする団体等への献金のための募金

この募金の送付先は小教区の会計の方が持っておられる振り込み用紙をお使いください。

通信欄には、「サポートセンター」とご記入ください。

口座番号 01310-0-16760 加入者名 宗教法人カトリック広島司教区

2) 教区内の諸団体の動き

①幼稚園関係

信望愛学園（山口県）、島根信望愛学園（島根県）、広島信望愛学園（広島県）では、被災者の入園料を免除いたします。また教育相談に応じます。

下関暁の星幼稚園では一時的に避難してこられた園児の受け入れが可能です。

②保育園関係

ゆりかご保育園（岡山南教会併設）では、入園料を免除致します。また教育相談に応じます。

③その他

- ◇ 下関労働教育センターを支える会では、被災者、原発事故避難者の方々の短期受け入れ場所の提供が可能です。場所は下関労働教育センターおよび、宇部ときわ湖畔ユースホステルです。詳細につきましては、下関労働教育センターを支える会、大城研司 (fjmtc727@yahoo.co.jp) までお願い致します。
- ◇ 広島マック（アルコール・薬物依存症からの回復、自立、社会復帰を促すための施設）では、依存症に苦しんでいる被災者の方々の受け入れが可能です。
- ◇ 3/27（日）15：00～ 青年主催による祈りの集いが世界平和記念聖堂にて行われます。

3) その他の援助

① 物品

現在のところ教区としては募集しておりません。各小教区、自治体にお問い合わせください。

② ボランティア

現地でのボランティアも、現時点では募集しておりません。現地から具体的な要請がありましたら、お知らせいたします。

《今後の活動》

- 教区内の修道会、宣教会と協力して、現地の情報収集に努め、養成に応じて協力していきます。そのための情報をお知らせください。
 - ・被災地に支部のある修道会の被害状況、必要等（運営している施設を含む）
 - ・被災者、避難者を受け入れる可能性がある修道会、小教区等がありましたら教えてください。
 - ・その他各小教区、修道院等でのサポート体制のアイデアを教えてください。

《お願い》

- 今後のやり取りは、できるだけインターネットのeメールで連絡を取り合いたと思います。災害サポートセンターへのお問い合わせは、pax@hiroshima.catholic.jp までお願い致します。
- 災害サポートセンターは、教区本部事務局内（広島市中区幟町4-42/082-221-6017）に設置されます。